

地域のお便り



カーブミラーをピカピカに!

道路や交差点に設置されているカーブミラーが、汚れていて危険を感じたことはありませんか？

こうした課題を解決するため、私が住んでいる町の青年会では、今年度の活動の一つに「カーブミラー磨き」を組み入れ、去る6月に第一回目の作業を実施いたしました。劇的にキレイになるというわけではありませんが、軽度な汚れやくもりを取り除くことができ、多少なりとも歩行者やドライバーさんの安全運転に貢献できたかと思います。

また、カーブミラーの多くは公共設置ですが、それを税金を使うことなくキレイにできる点も意識しました。

ぜひ、皆さまのお住まいの町でも取り組まれてはいかがでしょうか？



スッキリ！アクト南通り。

大型バスが停車すると片側車線をふさいでしまい、危ないとの声が多かったアクトシティ南側道路が、この春、道路混雑の緩和や交通安全向上を目的として生まれ変わりました。相互通行から一方通行にはなりましたが、最大で6台のバスが停車することができます。

これについては、市議会議員時代から要望を受けて働きかけていた案件でもあり、道路とともに自分の心もまさにスッキリ！どうぞ、安全で適切なご利用を心掛けて下さいね。



第9号の発行にあたり

改選後、初めての発行となりましたが、いかがでしたでしょうか。さて、国会で安保法制論議が熱を帯びる中、6月末には言論の自由を脅かすおごった言動が注目されるなど、せっかく選挙権が18歳以上に拡大する大事な時期だというのに、残念な状況が続いているです。

「民主主義において大事なのは、他者の考えが自分のそれよりも勝っているかもしれないとする心構えである。」

これは、政治に関わる上で私の大切にしている言葉の一つですが、今の国会の様子を反面教師にし、謙虚さと誠実さを忘れず、この夏の活動を精力的に進めて参りたいと思います。

山崎真之輔プロフィール

- ◆ 33歳三児の父親
- ◆ 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆ 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆ 浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆ 静岡県議会議員(2期目)
- ◆ 所属会派:ふじのくに県議団
- ◆ 所属委員会:企画くらし環境委員会(副委員長)



しんのすけ活動記録

4月13日	当選証書授与式
4月19日	浜松地区メーデー
4月25日	家康公顕彰400年記念事業 中間セレモニー
5月 3日～5日	浜松まつり
5月19日	三方原学園 創立記念式典
5月20日	県議会5月臨時会
5月25日	全国青年都道府県議会議員の会
6月 7日	消防団方面隊訓練
6月11日～12日	県外視察(空き家、リノベーション)
6月20日～21日	親子宿泊体験
6月24日～7月13日	県議会6月定例会
6月30日	地方分権推進特別委員会
7月 6日～7日	企画くらし環境委員会
7月15日～16日	委員会県内視察

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第9号 通信

平成27年7月発行

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ

本気が違う!!

検索



祝 再選

去る4月12日の統一地方選挙、18000人を超える方からご信任を頂き、再選を果たすことができました。市長と市議を併せてのトリプル選挙であったにもかかわらず投票率は伸びず、厳しい戦いを強いられましたが、そうした中で頂いた期待を裏切ることなく、今後4年間の責務をしっかりと果たして参ります。

また引き続き、県議会では最年少議員という立場となりました。若いエネルギーと8年間の議員経験を駆使し、政治・社会・地域経済を元気にしていきたいと思います。どうぞ、今期も叱咤激励を宜しくお願ひ致します！

必聴！

ラジオ生放送

7月から、地元ラジオ局FMharo!の新番組「聞いちゃえ！しづおかの政治」がスタート！

ご縁があって、毎週土曜日17時からの30分間、私を含めふじのくに県議団の5名が週替わりで登場します。お相手のパーソナリティは、社会人1年目のフレッシャー「遊佐ちえみ」さん。若い方にも理解しやすいように、しづおかの政治をカジュアルに発信していけたらと思っています。

ちなみに、私の出番は毎月第3土曜日。皆さん、Don't miss it !ですよ～



人口減少に打ち勝つ総合戦略を！

先月、静岡県は「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生長期人口ビジョン」と、それに対応する総合戦略の素案を発表しました。これは、いわゆる地方創生の取り組みを地方において具体化させるために、国が地方に対して策定を促したもの。分かりやすく言うと、人口が減っていく日本(地方)の現実を受け止めた上で、「叡智を結集して持続可能な社会を構築していきましょうよ！」ということです。そして、現在約370万人が住む静岡県が今後どうなっていくのかを、以下に示しました。

人口の将来展望

本県人口の
長期的な見通し

人口
2060年 **238万7千人**

高齢化率
2060年 **38.5%**



対策

合計特殊出生率
社会移動
2020年に2.07
2020年に均衡

本県が目指す
将来の姿

人口

2060年 **300万人程度**の人口を確保
※長期的には290万人程度で安定的に推移

高齢化率

2045年 **33.9%**をピークに低下、
25%程度(2080年以降)で安定

この対策の合計特殊出生率(一人の女性が一生に産む子供の平均数)2.07という数字は、現在が1.50だということを踏まえると、高すぎる目標にも思えます。しかし本県は、「若い世代の子どもを2人以上持ちたいとする希望」をかなえたいという熱意で5つの戦略を策定しました。今後、議会や有識者との議論を経た後、施策の着実な実行に移していくことになります。

戦略1

「命」を守り、日本一
「安全・安心」な
県土を築く



戦略2

誰もが活躍できる、
安定した雇用を
創出する



戦略3

“ふじのくに”なら
ではの魅力ある
くらしを提供し、
新しい人の流れ
をつくる



戦略4

若い世代の結婚、
出産、子育ての希望
をかなえる



戦略5

時代に合った地域
をつくり、地域と
地域を連携する

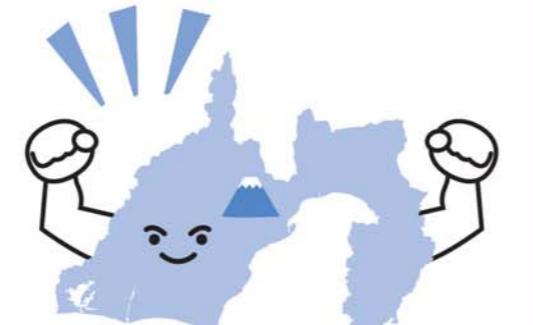


私たち静岡県民の中には、ここほど住みやすい場所はないと思っている方が多いと思います。私も、もちろんその一人です！人口
が多少減ろうとも、いつまでも魅力ある静岡県を築いていきたいですね。

真の目～ポスト東京時代を築けるか～

上記で紹介したように、いよいよ国も地方も人口減少対策に本腰を入れ始めました。しかし、より頑張らなければならないのは、地方の自治体です。なぜならば、東京の合計特殊出生率は約1.1しかありません。つまり、今のように東京に人口が流出してしまっている状況では、日本全体として人口減少をますます加速させることに繋がってしまうからです。

そこで、川勝知事が常々口にする「ポスト東京時代」。これこそが、人口減少対策の1丁目1番地なのかもしれません。2020年の東京オリンピックを大きな転機とし、地方の時代を築き上げる必要があります！



企画くらし環境委員会

静岡県議会に設置されている常任委員会の一つ。

人事や外交、情報部門を統括する「企画広報部」と、県民生活センターや建築、環境部門を統括する「くらし・環境部」を所管とする委員会です。定期例会ごとに2～3日程度開催し、今年は副委員長を務めます。



広報委員会

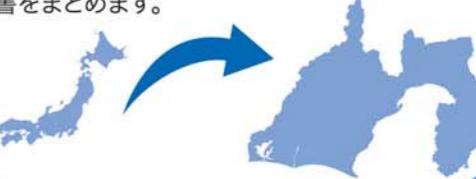
県議会が扱っている広報全般について協議をする委員会で、昨年度に続いて2年目の在籍。昨年は、本会議ネット中継画面に質問内容をテロップで表示する等、私の提案がいくつか実現しましたが、「県議会だより」の充実を図るなど、県民目線の広報を展開して参ります。



地方分権推進特別委員会

地方の自立を促し地方分権を推進していくために、議会発議で設置された特別委員会。

国から県、県から市町への権限や財源の移譲を最適化することによって、住民サービスの向上を図れるよう、先進地の調査や有識者からの聴取を経て、年度末に提言書をまとめます。



増える役目 と職務

充実の2期目が スタートしました！



4月の再選後、慌ただしくも5月臨時会と6月定例会を終えました。これから観光・レジャー-modeに突入する方も多いかと思いますが、秋から冬にかけて大事な審議が控える私たちにとっては、この夏のアクションが勝負の分かれ目です。

そして幸いなことに、2期目となる今期の序盤では、たくさん役目と職務を頂くことになりました。ここに、所属している委員会等、その一部をご紹介いたします。

議会運営委員会

議会をスムーズに運営させるため、会議規則や意見書の調整を行う委員会。

自由で活発な議論も、公平公正なルールがあってこそ初めて成り立ちます。基本的に、本会議が開かれる前に当委員会が開催され、各会派の意見を出し合います。



議会運営等改善検討委員会

その名の通り、議会運営をどのように改善するかを議論する委員会。

過去に、本会議の質問を一問一答方式に変更したり、会議のインターネット中継を実施したりと実績もありますが、議会改革は不断の努力が必要です。今期も積極的な自己改革を提案していきます。

